

【寺谷様のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 第一回目にふさわしく車両の電動化についての広範囲なご講演内容でした。
- 実際に開発に関わってきた講師なので具体的な説明で参考になった
- クルマの電動化の歴史を丁寧に整理していただき、それを踏まえて未来を語っていただきとてもよかったです
- 電気自動車の強み、日本全体での電気自動車普及への課題など、非常に分かりやすかった。
- 若者の教育の大切さを感じた。
- DC48Vの話は、客先でたまに聞くことはありましたが、他産業の関連については把握しておらず、参考になりました。
- 都市デザイン、地球環境などの視点からEV開発に関する内容で、非常に参考になりました。
- LCAに関して、自動車のライフサイクルにおけるCO₂排出量の、製造時、使用時、廃棄時での比率は、走行距離によるとは思いますが平均的（8万kmぐらいでしょうか）でどのような感じでしょうか？電動化されてもやはり使用時の比率がかなり占めるように思います。
- ユーザーとして長距離走行可能なEVは、ウェルカムであり、2025年以降車種が豊富になれば、雪崩をうってEV化すると考える。トヨタご出身としてEVに慎重なトヨタの方針に対し、寺谷さんの本音は？
- 電動化に向けた世の中の流れがよくわかりました。パリ協定の達成に向け、欧州ではエンジン車の禁止法案が出されましたが、日本ではEV化だけではCO₂削減が厳しいとされています。（電気の製造過程で多量のCO₂が排出されるため）そのため、自動車業界だけではなく、エネルギー業界も含めたもっと大きな動きが必要だと思いますが、そのあたりをもう少し知りたかったです。
- 車両運動力学の理解は難しいものでしたが、実際の問題に対する解決方法をご説明いただき、考え方は非常に分かりやすいとともに、実際の体験動画で効果も理解しやすく、非常に興味を持つことができました。
- カーボンニュートラル、電動車普及に向けた方向性の示唆に富むご講演で大変ためになりました。ご講演の中の“電動車普及の鍵はユーザー目線”と言う点は非常に納得するところです。ユーザー側に新たな意識やマインドセットも重要で、我々自身が新たに市場を作っていく必要があるとも感じています。また、社会システム全体で考える、総力戦でバランスを取っていく、技術変革のスピードが大事という点もとても印象的でした。日本は技術開発を愚直に進めながら、社会実装の点でスピード感に乏しい、石橋を叩いて壊すほどに慎重な気もします。
- エネルギー政策のグランドデザイン、制度整備、事業性など理由は多々あると思いますが、加速させる処方箋も機会がありましたらご教示いただければと思います。

【吉田様のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 欧州での異業種連携の進め方の話は参考になりました。
- 欧米と日本の本質的な問題点と課題が、わかり易い説明で、クリアになった。
- 国際規格の話など、ご自身の体験に基づいたもので大変興味深く聞きました。
- 日本の課題を認証でき、自業務への取り組みを考えることができました。
- 実情について理解できました。特に危機感という観点での情報は、初めてであったため、将来の技術検討の参考になりました。
- なぜ、ヨーロッパの国の方針に合わせる必要があるのかの疑問が解消され、有意義でした。
- 日本が苦手とする標準化に対する課題を講演いただき、日本の産業全体へのメッセージとも受け取れた。
- 昔から言われていることですが、日本の規格を通せる人材育成が急務だと感じました。
- 電気自動車の充電インフラに関係する研究をしているので、非常に参考になりました。規格化におけるデファクト・デジュールという観点が勉強になりました。
- 自動車業界は、電気業界と異なり横の協調に乏しく仲間づくりに苦労されている。これまでの排ガス規制、燃費規制では、日本が独断場であったが、自動運転でつまづき EV で遅れをとっている。
- 電動化を実現する上で重要となる電気の充電について、その実情を知ることができ大変有益でした。電気自動車や充電等の技術だけでなくビジネスモデルも見据えた開発が重要になることを学びました。
- 日本市場が特殊で規模も限定的（今後縮小方向）となれば、なかなか電池でグローバルな地位を確保していくのは難しいと感じました。欧州のような横のつながりの構築も必要なのではと思います。
- 「オールジャパン」はとても大切であり、今後の国際競争力を勝ち抜くためには必須の条件になると思いましたが、どうすれば「オールジャパン」になるのかが課題かと思えます。一部だけでなく、全員がそういった視点を持って活動していかなければいけないと感じました。
- 材料科学の知識が少ないため、理解が難しいところはありましたが、効果は大きなものであることは納得でき、特に電池の温度保護に対する適用については非常に興味を持ちました。
- 充電ビジネスの難しさをあらためて認識しました。カーボンニュートラルという社会的便益を価値化し、誰がコストを負担していくのか、社会システムとして成立させるための議論も不可欠と思えます。また、国際化では規格“戦争”と言われており、まさに経験から来る重みのある言葉と感じました。先手必勝も一つの方法ですが仕掛けるタイミングを誤ると必ず抵抗が生じるでしょうし、他国とのアライアンスも含め戦略的に進める必要があると再認識しました。

【堀先生のご講演に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 電気自動車の課題を解決する最新の技術を学びました。
- ワイヤレス給電でのミニ四駆を授業で取り入れたいと思います。
- 走行中給電の成功を期待したい。
- 堀先生の振り返りを今一度伺うことができ、その道一筋の人生の大事さを心から思いました。
- 堀先生のコメントでも出ていましたが、それぞれに白黒つけるのではなく、良いところをしていけば、もっとシンプルに事が運ぶのではと思っています。
- 多電池搭載や長距離走行の従来視点と違う、走行中給電やキャパシタ活用の視点は今後、重要になって来ると思います。電動車の使いわけと電力インフラ協調の出口戦略の議論が今後必要かと思えます。
- 市村賞を受賞した日立のインバータと日本電産のモータが一体になった究極ドライブトレインがほしい。カーボンナノファイバーキャパシターで走行給電するとどうなるか？
- 今までの自身の考えが覆されるインパクトがありました。今まで電気自動車には大容量電池が乗っているのが当たり前だと思っていましたが、走行中給電などの技術を知ることができ視野が広がりました。
- キャパシタを用いたEVなど、研究者としての目線で様々な技術を紹介していただいたのでとても勉強になりました。
- 技術専門的な内容も多く理解が一部追いつきませんでした。LIB 一辺倒ではなくてLIB とキャパシタその他蓄電デバイスもそれぞれの特性応じてうまくミックスして使うことが重要と感じました。
- 改めて、輸送効率化（トンキロメートル）の観点から如何に電池を積まないで走るかを考える機会になりました。モータの制御設計など新鮮でした。
- スーパーキャパシタバスは、EVバスの「充電時間が長いという」弱点を克服した画期的なバスだと思いますが、現在、ほとんど普及していないことに対する課題は何でしょうか？
- 世の中が完全に大容量リチウムイオン電池に関心が集まっている中、理にかなっていないご説明をいただき、非常に共感できました。偏った見方だけではなく、広い視野を持つべきであるとあらためて実感させられるものでありました。
- 堀先生のお話を聞く度に、電費の悪い、充電時間がやたら必要な大きなEVに疑問を持ちます。車は燃費や環境性能が全てではありませんので様々なタイプがあってしかるべきですが、EVは昔のモータリゼーションを追いかける必要はないのではとも思いません。安全基準を満たしつつ、パッケージングをミニマムにして徹底して軽量化を図った小さな車が一つの解であり、そこに新しい価値・サービスを実装していくと良いのではと思う次第です。

【質疑応答に関するご感想・ご意見（一部抜粋）】

- 第一線の方々の着眼点を学ぶ良い機会でした。
- パネリスト同士の意見交換なども聞くことができありがたい。
- 将来、日本のあるべき姿を考えさせられる質疑応答で興味深かった。
- 今の動きをビジネスにするには強烈な中心人物が必要、に共感します。
- 縦割りを解す難しさはありますが、前進あるのみと感じました。
- EV化促進させるためには共通規格、新しい法規の制定（国内規制緩和含む）等どのような課題があり、いつまでに決めようとしているのでしょうか？
- 日本の電動車推進の全体的俯瞰・強力な司令塔のリーダーシップの必要性が議論できてよかった。私は、日本の場合、ドイツ（VDA：ドイツ自工会）のように、自工会（タスクフォースを構成し）、自技会、電気学会、JARI、部工会、政府&経産・国土交通・NEDO 他、強力な人財メンバーを中長期的組織と仕組み作りが必要ではないかと思う。
- EUが2035年HEV禁止を表明。中国、米国にも波及するか？水素エンジンは、ものになるか、e-fuelや安くできるか？
- 日本の技術・組織戦略の議論になりましたが、中国や欧米のように長期的戦略をもって取り組める組織になっていないのだなと感じました。政府のコロナ対策やオリパラ組織委員の対応見ると個人は優秀だけど組織として動くとうまく行かないパターンですね。
- 国際規格・標準化などでは、国家的政略・戦略が重要であることを再認識させられ、大変興味深く拝聴させて頂きました。今後も技術論に加えてこのような話もお聞かせ頂けると嬉しいです。

【自由記述欄（一部抜粋）】

- とても参考になった。次回以降も参加したい。
- 電動化技術に関して広く、また深く知ることが出来ました。
- オールジャパンを感じ、参加して良かった
- 今回のセミナーは、広範な内容を網羅し素晴らしい企画、毎回楽しみです。
- 今回のeモビリティシンポジウムが構成できたのは、堀先生の実績と人脈サポートで、このように率直な意見や議論の場が重要です。今後の講座も楽しみにしている。
- もっと多くの人に参加聴講してほしいですね。大事な話題のシンポジウムですから、国家審議よりも大事になると思います。
- このようなトップの方の講演が無料で聴ける機会をいただきありがとうございます。
- 多方面から200名近い方が参加されたとのことで大変関心の高いすばらしいシンポジウムだと思います。
- 講演を通し聞こえる潮流、「世界の今」が紹介されており、車やそれに連なる施策の説明を通して、一般的な経済の話として聞いても面白いな、と思った。